

社会保障審議会医療保険部会 高額療養費制度の在り方に関する専門委員会 提出資料

高額療養費と破滅的医療支出について

2025年11月21日

一般社団法人 全国がん患者団体連合会(全がん連)

本資料は、五十嵐中先生(東京大学大学院薬学系研究科医療政策・公衆衛生学特任准教授)のご協力により提出する資料です。五十嵐先生のご協力に、心より感謝申し上げます。

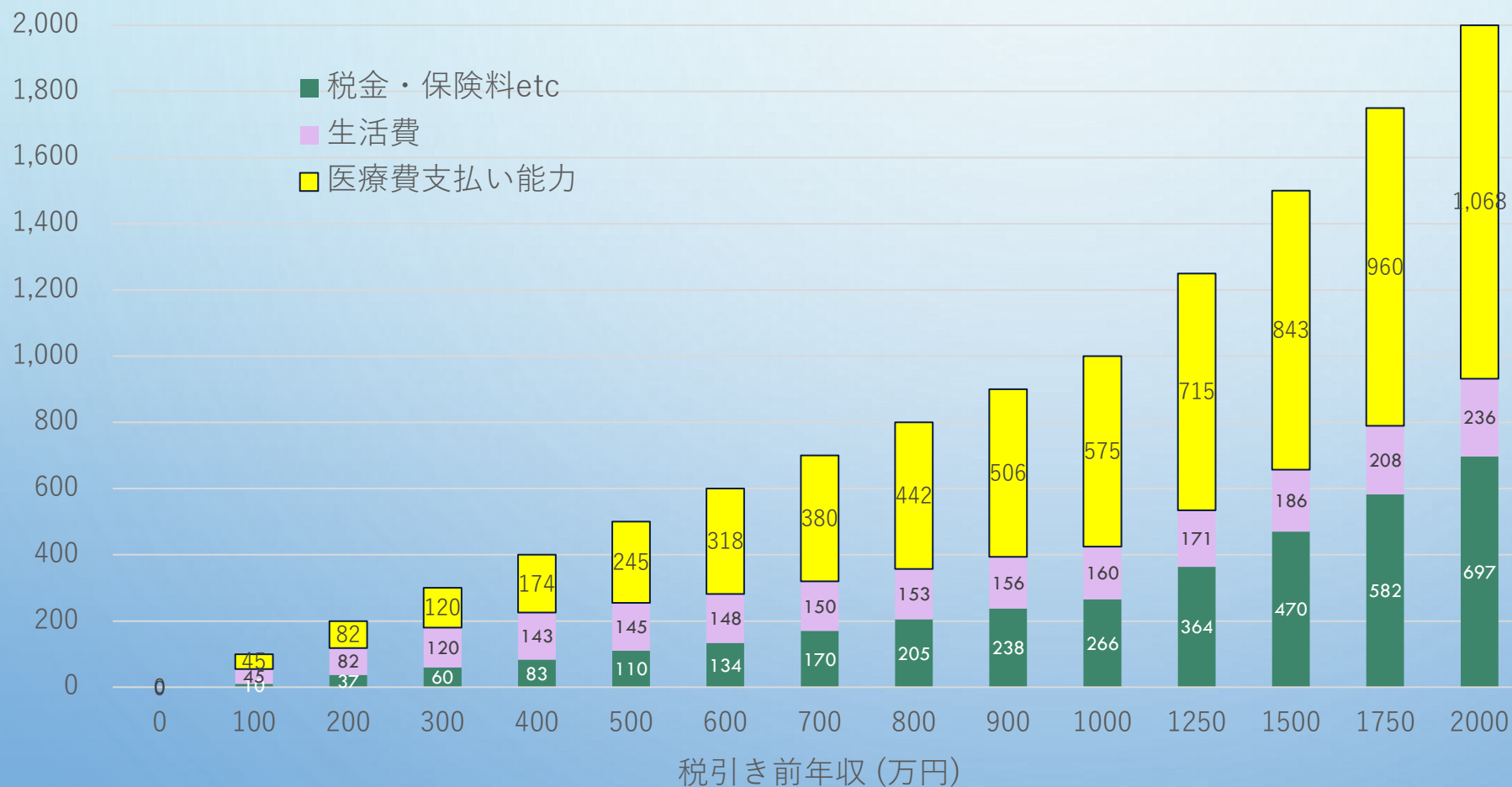
商用レセプトデータベースを用いた 自己負担額と破滅的医療費支出の関係

- 日本システム技術株式会社のレセプトデータ（健保由来,患者の実自己負担額の記載あり）を用いて高額療養費利用者のデータ抽出
- 医療費（および自己負担額）のデータと、所得区分のデータから「破滅的医療費支出」の有無を区分別・疾患別に推計

組合健保のデータであるため、やや「高所得・健康な人」に偏ることに注意

破滅的医療費支出とは（所得と「医療費支出」）

年収と概算「医療費支払い能力」の関係



税金・保険料に加えて
「生活費」を考慮
食費+住居費+水道光熱費

「生活費」部分の割合は
低所得層ほど大きい

医療費支出が
支払能力の**40%以上**
↓
破滅的医療費支出

*税金・保険料: 年収からの手取り額早見表を用いて算出 (URL: <https://www.musashi-corporation.com/wealthhack/annual-income-net-income>)

*生活費: 大阪医科薬科大学・伊藤らの研究の手法もとに、総務省統計局 家計調査 家計収支編 年間収入十分位階級別 1世帯当たり 1か月間の収入と支出のうち、食費・住居費・水道光熱費に該当する部分を合算して組み込み

データベース中・高額療養費利用者の状況 (N=151,931)

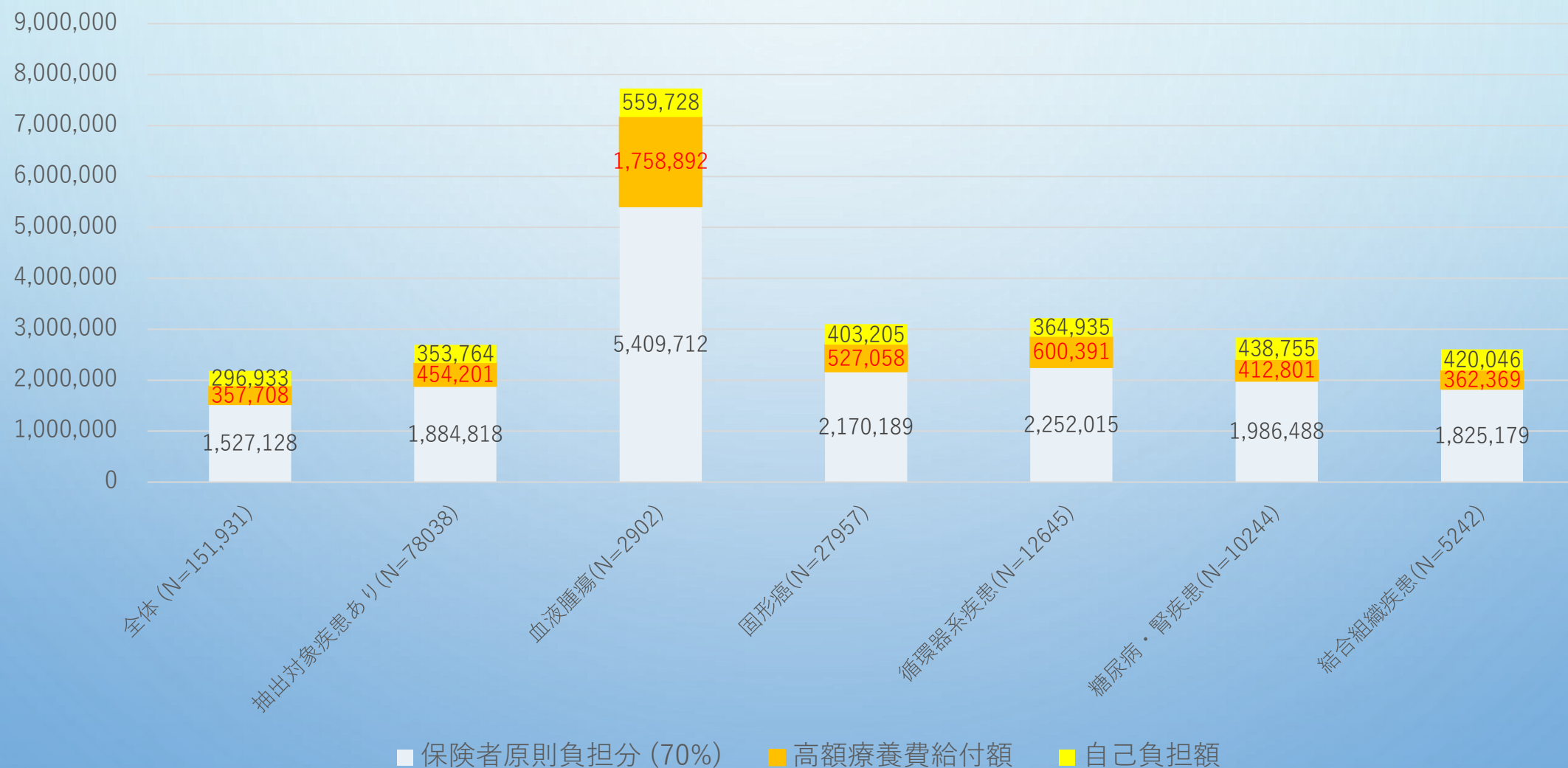
所得区分	N	構成割合	構成割合 (健保全体)	医療費 (10割)	医療費 (3割)	自己負担額	高額療養費 給付額
区分ア：標報83万円～	3,763	2.5%	4.2%	3,134,963	940,621	505,805	434,815
区分イ：標報53～79万円未満	14,397	9.5%	15.9%	3,056,477	917,059	488,959	428,100
区分ウ：標報28～50万円未満	90,442	59.5%	50.5%	2,169,200	650,869	294,594	356,274
区分エ：標報26万円以下	42,533	28.0%	29.4%	1,826,382	548,026	219,211	328,815
区分オ：低所得者	796	0.5%		2,272,816	681,943	255,140	426,803
全体	151,931			2,181,770	654,642	296,933	357,708

高額療養費制度利用者の報酬分布は若干低所得側に偏る傾向
高所得者は自己負担上限が高い→給付額そのものはむしろ高額に？

さまざまな疾患の影響

	N	医療費 (10割)	医療費 (3割)	自己負担額	高額療養費 給付額
抽出対象疾患あり	78,038	2,692,783	807,965	353,764	454,201
血液腫瘍	2,902	7,728,332	2,318,620	559,728	1,758,892
固形癌	27,957	3,100,451	930,262	403,205	527,058
循環器系疾患	12,645	3,217,341	965,326	364,935	600,391
糖尿病・腎疾患	10,244	2,838,044	851,557	438,755	412,801
結合組織疾患	5,242	2,607,595	782,415	420,046	362,369

疾患別の医療費・高額療養費給付・自己負担額



「破滅的医療費支出」の該当状況（全体）

所得区分		破滅的医療費支出該当		破滅的医療費支出該当 (高額療養費制度なし)	
区分ア：標報83万円～	3763	14	0.37%	129	3.43%
区分イ：標報53～79万円未満	14397	151	1.05%	1227	8.52%
区分ウ：標報28～50万円未満	90442	1714	1.90%	12387	13.70%
区分エ：標報26万円以下	42533	3766	8.85%	15158	35.64%
区分オ：低所得者	796	301	37.81%	554	69.60%
全体	151931	5946	3.91%	29455	19.39%

該当の有無は所得区分の影響を強く受ける
 高額療養費制度がなかった(全員3割負担) 場合、該当者は5倍程度に増える (3.9%→19.4%)

「破滅的医療費支出」の該当状況 (抽出対象疾患あり, N=78,038)

所得区分		破滅的医療費支出該当		破滅的医療費支出該当 (高額療養費制度なし)	
区分ア：標報83万円～	2637	7	0.27%	99	3.75%
区分イ：標報53～79万円未満	8222	97	1.18%	940	11.43%
区分ウ：標報28～50万円未満	42954	1168	2.72%	9054	21.08%
区分エ：標報26万円以下	23839	2927	12.28%	10840	45.47%
区分オ：低所得者	386	179	46.37%	304	78.76%
全体	78038	4378	5.61%	21237	27.21%

「破滅的医療費支出」の該当状況 (固形がん, N=27,957)

所得区分		破滅的医療費支出該当		破滅的医療費支出該当 (高額療養費制度なし)	
区分ア：標報83万円～	1164	2	0.17%	42	3.61%
区分イ：標報53～79万円未満	3424	36	1.05%	485	14.16%
区分ウ：標報28～50万円未満	14843	349	2.35%	4284	28.86%
区分エ：標報26万円以下	8435	1472	17.45%	4941	58.58%
区分オ：低所得者	91	38	41.76%	72	79.12%
全体	27957	1897	6.79%	9824	35.14%

「破滅的医療費支出」の該当状況 (血液がん, N=2,902)

所得区分		破滅的医療費支出該当		破滅的医療費支出該当 (高額療養費制度なし)	
区分ア：標報83万円～	128	1	0.78%	36	28.13%
区分イ：標報53～79万円未満	433	16	3.70%	173	39.95%
区分ウ：標報28～50万円未満	1612	102	6.33%	975	60.48%
区分エ：標報26万円以下	720	226	31.39%	521	72.36%
区分オ：低所得者	9	4	44.44%	7	77.78%
全体	2902	349	12.03%	1712	58.99%

「破滅的医療費支出」の該当状況 (循環器, N=12,645)

所得区分		破滅的医療費支出該当		破滅的医療費支出該当 (高額療養費制度なし)	
区分ア：標報83万円～	586	1	0.17%	18	3.07%
区分イ：標報53～79万円未満	1503	26	1.73%	209	13.91%
区分ウ：標報28～50万円未満	6592	245	3.72%	1897	28.78%
区分エ：標報26万円以下	3923	465	11.85%	2189	55.80%
区分オ：低所得者	41	24	58.54%	36	87.80%
全体	12645	761	6.02%	4349	34.39%

「破滅的医療費支出」の該当状況 (糖尿病・腎疾患, N=10,644)

所得区分		破滅的医療費支出該当		破滅的医療費支出該当 (高額療養費制度なし)	
区分ア：標報83万円～	397	3	0.76%	12	3.02%
区分イ：標報53～79万円未満	873	17	1.95%	97	11.11%
区分ウ：標報28～50万円未満	5532	457	8.26%	1427	25.80%
区分エ：標報26万円以下	3384	620	18.32%	1646	48.64%
区分オ：低所得者	58	31	53.45%	46	79.31%
全体	10244	1128	11.01%	3228	31.51%

「破滅的医療費支出」の該当状況 (筋・結合組織疾患, N=10,644)

所得区分		破滅的医療費支出該当		破滅的医療費支出該当 (高額療養費制度なし)	
区分ア：標報83万円～	97	0	0.00%	4	4.12%
区分イ：標報53～79万円未満	445	9	2.02%	53	11.91%
区分ウ：標報28～50万円未満	2960	92	3.11%	532	17.97%
区分エ：標報26万円以下	1660	339	20.42%	871	52.47%
区分オ：低所得者	80	51	63.75%	66	82.50%
全体	5242	491	9.37%	1526	29.11%

留意点など

- 現物給付（医療機関での支払額が軽減されている）のケースを抽出しているため、現金給付（いったん3割支払→あとで償還）のケースは含まれない
- 健保組合加入者のデータを基にしているため、やや高所得に偏る
（年度内に、国保も含めたデータを別データベースから入手・解析予定）
- 所得区分内での標準報酬の分布は健保組合加入者全体の数値で仮定しており、実際の制度利用者の分布とは異なる可能性あり